



37 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6
国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網嶋町9番10号 太閤園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：太閤園
会長：濃添敬造/幹事：吉羽潤司/SAA：中村浩一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーは機会の扉を開く

特別会報 2月号

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、臨時休会

<1700回> 2021年2月 2日 本年度第24回

<1701回> 2021年2月16日 本年度第25回

前回の報告

会長インフォメーション

PRESIDENT INFORMATION

会長：濃添 敬造

バレンタインズデイ

新型コロナの感染状況は減少傾向にあるものの、絶対数や病床ひっ迫率など、まだまだ厳しい状況が続いております。当クラブは理事会決定に基づき例会の休会を続けておりますが、国や自治体の判断等状況の変化を注視しつつ、対応を考えていきたいと思っております。会員及びご家族の健康を第一に再開を含め運営を進めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

さて今回も会報上のインフォメーションになり、少々タイムリーさには欠けますが、2月のイベント事といえばバレンタインズデイということで、バレンタインズデイの起源についてお話ししたいと思います。諸説あるようですが、通説をご紹介します。

バレンタインズデイの起源は、紀元269年古代ローマ時代、キリスト教のバレンタイン司祭が処刑された日に由来します。この始まりは、当時のローマで2月14日は、結婚を司る神ユノーの祝日とされました。ローマの女

性たちは、2月14日に自分の名前を書いた紙を桶に入れていきます。そしてその紙を男性たちが引き当て、出会ったカップルは、その翌日豊年を祝うルカルペディア祭と一緒に過ごす習慣がありました。ここで出会った男女の多くが結婚をするということが多かったそうです。しかし当時ローマ皇帝であったクラウディウス二世は、軍隊に入る若者が結婚をしてしまうと戦場で勇敢には戦わなくなる理由から、兵隊にたいし結婚禁止令を出しました。このことをふびんに思った、キリスト教のバレンタイン司祭は、秘密に若者たちを結婚させていました。しかし極秘に結婚できるという話は、皇帝の耳に入り皇帝はバレンタインにその活動を禁止させます。バレンタインはそれを聞き入れず、極秘結婚の活動を続け、皇帝が怒り、2月14日にバレンタインを処刑しました。この悲しい出来事から、後世2月14日は愛を誓いあうバレンタインズデイになったと言われています。

日本では世界で唯一、女性が男性にチョコレートを贈るといことです。かなり商業色が強いお祭りに変化しています。ちょっと、お祭りの趣旨とはずれているかもれませんね

とりあえずチロルチョコでもお願いします。

平和と紛争予防/紛争解決月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「Regrowth(再び成長する)の機会を！」

【理事会報告 2月2日開催分】

- ・現在の休会対応の是非を次年度理事会メンバーも交えて審議しました。
他クラブにて例会を再開しているところもあり、当クラブとして今の基準(大阪府新型コロナ警戒信号がイエローステージ2以上であれば休会)の維持もしくは見直しについては会長幹事に一任されることになりました。
- ・会計報告が行われ、休止会員につき、請求漏れがあった米山奨学分担金、ポリオ地区協力金未収金を追加請求することが決定されました。
- ・次回さつまいもスクールに向け、さつまいも苗の購入支援を行うことが承認されました。
- ・奉仕活動として、貧困層一人親家庭への支援を検討していくことが承認されました。今後支援方法を検討して参ります。

【例会の開催基準】

先述の2月度定例理事会にて話し合われた例会開催基準の見直しの件につき、改めて何人かの意見を聞き会長幹事にて再考した結果、COVID19ウィルスの感染状況がこの数日間、ようやく減少傾向であるものの、依然として医療体制がひっ迫していることや、政府自治体から不要不急の外出を控えるメッセージが出ていることを鑑み、当クラブの現状の例会開催基準を変更するに相当な理由も見当たらないことから、現基準を維持していくことにいたしました。

会員、特に新入会員の皆様におかれましては、ロータリークラブに入会している意味を感じ取りにくい状況が続いておりますが、近くロータリークラブとして多に活動できる日が明けると思います。

その日に向けて今は力を温存することにご理解頂きたく何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

【会長幹事会 2月8日開催分】

- ・ガバナー補佐の候補選出方法について藤田ガバナー補佐より、現在の立候補制では立候補者が無く、選出に支障をきたしていることから、以前の各クラブ輪番制に変更したいという議案が上がりました。この案に対して、全クラブが賛成しましたので、制度の詳細を取り決めた後に輪番制に変更となると思われまます。我が鶴見RCの担当年度については決定の後に改めてご報告いたします。

【その他】

- ・太閤園より2月12日付にて6月末をもって太閤園の営業を終了するという通知を受けました。詳細を確認し、今後対応を協議して参ります。
- ・国際大会(今年度6月 於:台湾)につき、リアル大会は中

止、バーチャル大会のみ開催されることになりました。

- ・ロータリーデー(今年度3月)の開催が中止となりました。オンラインでの開催もありません。準備にご協力頂いた山崎会員、水口会員ありがとうございました。ロータリーデーにて予定されていた各クラブ紹介のDVDは後日配布されるとのことですので、例会等にて視聴したいと思います。
- ・2月14日に地区ローターアクトによる献血が行われ、当クラブより水口会員と吉羽がそれぞれ京橋会場、難波会場にて献血協力を行いました。ご協力ありがとうございました。

ロータリーの友2月号の紹介

委員
源 壽美子

<縦組記事>

- P3 RI会長メッセージ2月23日はロータリーの創立記念日、そして平和構築と紛争予防月間です。
今一度、平和について考えていただければと思います。
- P24-25 世界中のロータリープロジェクトなかなか出会えませんが、世界のロータリー活動について知っていただければと思います。
- 連載コミック ポールハリスとロータリーロータリーの友にコミックがあるのをご存知でしたか?今回は第4章(後半)となっておりますが、親睦を修復するためにどうしたでしょうか?是非ご覧ください!

<縦組記事>

- P16 友愛の広場 星孝夫様の投稿に会員のお孫さんがドラフト1位指名!とあり読み進めると阪神タイガース1位指名の佐藤輝明内野手が、ロータリアンのお孫さんとの事。
ロータリーの友情でチームを応援してくださいと締めくくられていました。

コラム

コロナ禍でも楽しく乾杯

津野友邦

今回は卓話に代えて会報の原稿を準備せよということで「ワイン」について書かせていただくことにしました。私は1年間を平均すればおそらく1日あたり1本〜程度は飲んでいるのではないかと思います。経済的に

も身体的にもダメージを受けています。ワインにはまって5年ほど経ちますが今ではその魅力にすっかり浸かっています。アルコールはダメな方、好きでもワインな苦手な方もおられるとは思いますが少しばかりお付き合いください。

コロナ禍でおいしい外食をする機会は随分と減ったのではないのでしょうか。私は4月の緊急事態宣言中の全くお店が空いていなかった時期を除けば以前よりは減りましたが今でもほとんど外食です（もちろんかなりきちんと対策しています。検査も毎週しています!!）。外食なら2時間とか直ぐに経つのに家での食事は驚くほど短時間であっけなく楽しい食事時間が終わってしまいます。私の場合そこで活躍するのがワインです（とか言いながら家でもワインを飲むわけです）。美味しい食事に美味しいワインをふわっと合わせて飲むのは楽しいものです。表現は難しいですが、何か心にゆとりが生まれるような気さえます。またワインは様々なビジネスの場面でのコミュニケーションツールとしても抜群です。同じテーブルで1本のワインを共有することで親近感が生まれ、また人脈も広がります。人と人をつなぐ不思議な魅力がワインにはあると思います。

私はワインは飲むのが専門で勉強することもなく、ただただ飲んで記憶している程度ですので偏りがあったり誤った内容が含まれるかもしれませんが少しばかりワインの基礎知識を書かせていただきます。実はこれから体系的に勉強してみようかと考えているところです。

知っておきたいブドウの品種について。

赤ワインではカベルネソービニオン、ピノノワール、メルローこの3つが代表格と言ってよいと思います。

カベルネソービニオンは濃厚でしっかりした味わいが特徴でタンニンの量が豊富な品種です。タンニンと言うのは赤ワインの渋み成分で赤ワインの風味や色、熟成などに関連する重要な成分で熟成するうちにマイルドになります。よく耳にするカリフォルニア州ナパバレーの高級ワイン「オーパスワン」はこのブドウ品種を主体として造られています。

ピノノワールはフランスのブルゴーニュ地方原産の品種で透明感のあるルビー色で比較的タンニンが少なめらかな味わい、ラズベリーやイチゴ、チェリーなどチャーミングな香りが特徴の女性的なイメージの品種（私見）で基本的に他の品種とブレンドせずに単一で使われます。よく耳にされると思いますが1本数百万円する超高級ワインとしても有名な「ロマネ・コンティ」はこのブドウ品種が使われています。私は赤ではこの品種が好きです。

メルローはフランスボルドー地方原産の品種で色合いには深みがありきめ細やかで丸みを帯びた味わい、プラムやブルーベリー、チョコレートのような香りが特

徴で他の品種とブレンドして使われることが多いです。

白ワインではシャルドネ、ソーヴィニヨンブラン、リースニングが代表格と言ってよいと思います。

シャルドネはフランスのブルゴーニュ地方原産とされ、「白ワインの女王」とも言われています。産地によって味わい・表情が大きく異なります。私は白ではこの品種が好きです。お祝い事やパーティーなどでポンツ！と開けるジャンパンはこのシャルドネを原料とするものが多いです。ちなみにシャンパンと言ってよいのはフランスのシャンパーニュ地方で作られたものだけで他の発泡性ワインはスパークリングワインと呼ばれます。白では「シャブリ」とかもよく聞かかと思いますが、これはフランスのブルゴーニュ地方シャブリ地区でこのシャルドネ種で造られるワインです（とりあえずこれも大好きです）。

ソーヴィニヨンブランは柑橘系のさわやかな香りが特徴でグレープフルーツのようなほろ苦さとさわやかな酸味を併せ持ったフレッシュなイメージです。暑い夏の昼間にキリッと冷やしたこの品種のワインをがぶがぶ飲むのが大好きです（ほとんどアル中です^^）。

リースニングは涼しい気候を好む品種でドイツ代表の白ワイン用の品種で、ドイツに隣接するフランス北部のアルザス地方でも良く使われています。スリムで背の高いボトルに入っていることが多いです。甘口のイメージがあつて昔は何となく避けてましたが、甘口から辛口まで造られており、味は酸味のあるそして繊細なフルーツ（レモン・ライム・白桃など）の香り・味わいが楽しめます（甘さが強いリースニング以外なら大好きです♪）。

ブドウ品種は他にも、シラー・グルナッシュ・サンジョベーゼ・ジンファンデル等々、数多くあり地域によって同じ品種でも呼び名が異なることもあるのでとても覚えきれものではありません。

ワインは「よく分からん」と言う方は、レストランでワインを注文する際には是非代表格として挙げたブドウの品種と香りや味わいをイメージして注文するのも良いかと思います。またレストランでよく目にするワインの表現で「○○ボディ」と言うのがあります。「○○ボディ」は赤ワインの飲み口の重量感を表しています。濃厚な重い赤ワインを「フルボディ」、さっぱりとした軽い赤ワインを「ライトボディ」、その中間を「ミディアムボディ」と呼んでいます。白ワインでは甘口や辛口と表現されており、含まれる糖分を表しています。この辺りを意識して注文するのも良いかもしれません。

これからも好きな食事やワインを楽しめるように明るく楽しく仕事と健康を両立させていきたいと思っています。

乾杯♪

2月の表彰とお祝い

◆誕生日

2月1日 吉羽 潤司
2月3日 浮舟 邦彦
2月6日 水間 頼孝
2月6日 谷 康平

◆ホームクラブ10回連続賞

なし

◆結婚記念日

2月 3日 吉羽 潤司
2月13日 中村 浩一

◆在籍年数

34年 中村 浩一
23年 広瀬 芳和
6年 源 壽美子

◆事業所創立日

2月 1日 覚野 廣久
2月 4日 谷 康平

各会員

ロータリークラブは 新型コロナウイルスの 感染予防を徹底します！

いまは誰が新型コロナウイルスに感染してもおかしくない状況です。
ロータリアンとして節度のある行動を心掛け、全員で対応しましょう。
今一度、感染予防対策を確認してください。



万が一、感染してしまっても、悪いのはウイルスです。ロータリアンは互いを思いやりサポートしましょう。